

霞が関シアター+トークイベント「放射線を浴びたX年後」アンケート結果

2013/3/4実施

回答数 19人 / 参加者 25人

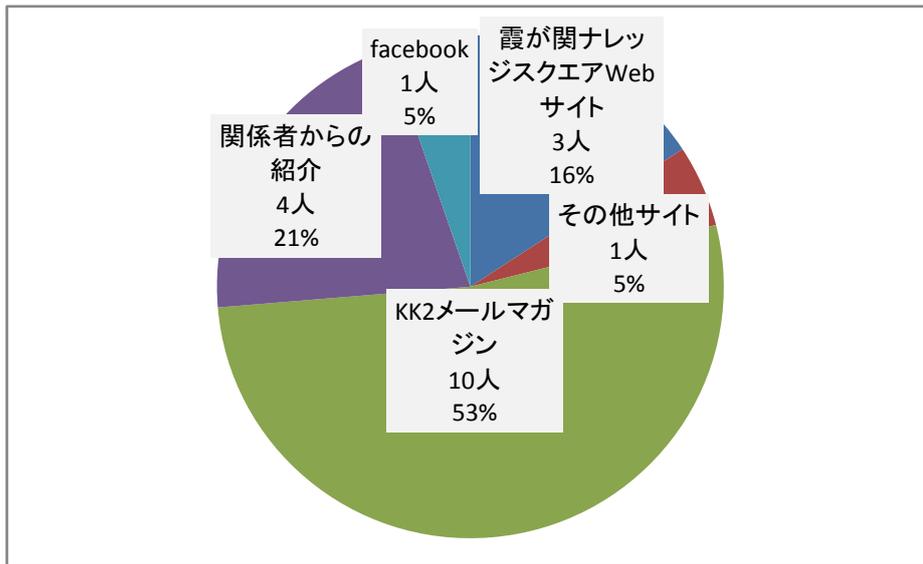
回答者属性

性別	
男	11人
女	8人
無回答	0人

年代	
～19歳	0人
20～34歳	2人
35～49歳	10人
50～64歳	4人
65歳以上	2人
無回答	1人

属性	
メンバー	5人
web会員	10人
一般	2人
無回答	2人

1. 霞が関シアターを何でお知りになりましたか



2. 本映画に関するご感想、ご意見をお書きください。

- ・日本の政府、政治家、役人そしてマスコミ、学者の責任。米国を同盟国として頼る馬鹿さ加減、日本人は怒りを忘れ愚かなまま。英語版を作って全米で放送すべし
- ・関心がないということはその事実もなかったことになる。被害者が教えてくれるまで、待ってられない。改めて山下さんや伊藤さん、調査し続けてきた方々に感謝すると共にこの不安とこの悔しさを持って活動したいです。
- ・衝撃的だった。あれだけの実験で、第五福竜丸以外に被爆者がいることになんて気づかなかったのだろうかと思った。人と、自分の思い込みの愚かさを知った。
- ・政府の対応の至らなさについて理解した。だが時間の経過という障害もあってか科学的、統計的にももの足りなさを感じた。
- ・無念さが心に突き刺さる内容でした。「昔も今も変わらない、貧乏くじを引くのは弱者」と言っていたのですが、本当にそうだと感じました。使命感で活動を続けている山下氏にも感動！
- ・被爆したのは第五福竜丸だけだと思っていました。そんな筈はないのに。一度考えれば判ることなのにアメリカはそういう国。日本はそういう国。国は一人一人の人間から出来ている。国がなければ人が生きられないのではない。人がいるから国は成り立つのだと思う。
- ・当時の関係者の証言を一つ一つ積み重ねて、細かく取材していてとても良かった。『赤い子』まさにその通りでした。原発事故に関して「私らの求める情報と公表される情報とは違う」という女性インタビューが印象的でした。
- ・長い年数が経ち、当事者の方々も亡くなり、真実や人間の感情も風化していつていることも強く感じました。原爆や水爆という核兵器やさらなる強力な核兵器が新しい時代と共に作られています。考え感じ意識改革をしないとイケないのは歴史や映画も証明しているように人間同士が憎しみあうその心だと思います。私たち1人1人がその心と戦うべきだと思います。
- ・幼い小学校の頃の記憶に少しあることでした。“雨が降りぬれてはいけない”とか…今またこのテーマは更に深い重いテーマになり、再び考えてみたいと痛感したものである。
- ・重い… 救いはどこに…
- ・全く知らされていなかった(気付かなかった)事実でした。私はどこかで情報操作があったのでは？と考えています。1945年はTV ON AIRの年でしたね。当然風化しても無理ないのですが、事実を少しでも広められるように。
- ・今回の映画でビキニでの被爆を初めて知りました。知らないことの怖さ、情けなさ、恥ずかしさを実感しました。ただこういった問題を一生懸命おいつづけている山下先生のような存在に人類は救われているのだなと感じました。ありがとうございました。
- ・人間の欲と無知が生活や生命を脅かす、昨年放射能汚染にも通じるものを感じる。“弱い者にシワ寄せが来る”とあきらめる前に、現状を知り、声をあげていくこと、風化させない環境を作っていくことが次世代の人間に必要なと思う。
- ・静かだけれど強い信念をもって活動を続けられている山下先生は印象的でした。“赤い子”なのですね。
- ・戦争が終わってもアメリカの犠牲になっているのかという思いに虚しく思った。ただ生存している人もいるため、立証が難しいのではないかと。200万\$で、売られた船員(もちろんそのことも知らされていない)たちの無念さを思った。ただ、福島と問題意識が違うと思うので、ところどころで福島関連の映画が流れるのには、疑問、違和感を持った。
- ・日本にも被害があったという事実を初めて知り、問題の本質とその罪深さに驚愕した。アメリカという国の罪深さを許しがたく思う。山下先生の活動に感動しました。

3. トークイベントについてのご感想、ご意見をお書きください。

- ・科学者という立場で桃井さんの発言がありましたが、であればもうちょっと多面的に話をして欲しかったです。
- ・もしくは別の角度から話せる方も一緒にトークして欲しかった。放射線について考え方もまだまだだと思いますので。
- ・いまいちかみあっていなかったと思う。
- ・2人は福島の問題でのつながりはわからないと言っていましたが、おそらく政府の対応の正しさを検証するためのベンチマークとしての意義はあると思う。
- ・人の思いというものを伝えるのは難しいとつくづく感じました。人を動かす(心も体も)には地道な活動しかないのだろう
- ・メディアの方々を科学者の方々のと思いや情熱を感じました。私財を投げ打ち自費でもご自分たちの社会的役割を発信受信し続けておられる姿に感銘を受けました。冷戦や政治や経済や文化や右も左も関係なく、核兵器等の武力は人類にとって何のメリットもないと思い感じました。
- ・単に映画を観賞のみではなくてトークイベントがあるのはとてもよかったですと思います。ありがとうございました。
- ・難しいテーマでした。日本人は小雨でも必ず傘をさす。外国人は少しの雨ならそのまま歩く。日本人の体験がそうさせているのかと思いました。
- ・トークイベント、選定が難しいですね。でも両極の考え方がわかり新鮮です。本日の久保田代表、とても若く見えました。
- ・伊東ディレクターのお話を聞くことができとても有益でした。過去から学び、未来に失敗を活かしていくことが今の私たちに本当に求められていることだと感じました。改めて、水爆実験の恐さ、むなしさも感じました。

4. 取り上げて欲しい映画、テーマ、ゲスト等ございましたら、ご記入ください。

- ・『写真の裏の真実—硫黄島の暗号兵サカイタイゾーの選択』
- ・体罰について ゲスト:寺門研、鈴木寛、文部省スポーツ局長など
- ・日本が元気になるようなテーマを希望します。
- ・世界の経済、政治、社会、文化、国際問題等の問題を取り上げてほしいです。世界の立法、行政、司法、マスメディア、スポーツ界、芸能界、皇室等が適切で対等な関係をきづき世界規模の環境・人口・社会問題に対応して行ってほしいです。
- ・自分の頭で考える力が弱い日本人が少ない今日、忘れられそうな事象、曲げて報道されそうな事象を今回のような内容で取り上げてほしい。
- ・今回のように日本の社会が抱える問題をテーマにしたドキュメンタリーを上映していただけるとありがたいです。